

元中だより



元吉原中学校HP

富士市立元吉原中学校
学校だより 第2号
令和5年5月24日

☆総合縦MET「食育グループ」田植え☆

5月8日(月)は雨上がりの曇天の下でしたが、JAふじ伊豆元吉原支店の職員や檜地区の二見様をはじめ5人の農業のプロの皆様方のご協力やご指導のもと、総合縦M「食育グループ(1・2年生)」の14人が田植えを行いました。裸足で田んぼに入り、泥だらけになりながら、昔ながらの手法での田植えに挑戦しました。

また、3年生は、運動場にある畑で、JAふじ伊豆元吉原支店や市食育推進室からカボチャやスイカなどの苗をいただき、苗植えをしました。

参加生徒は、農家の苦労や食のありがたさを実感することができ貴重な体験となりました。もし、お世話になった方とお知り合いの方がいらっしゃいましたら、お礼を伝えていただくとありがたいです。



小・中と連続で田植えを体験した1年生の感想

2度目の田植えという貴重な体験を通して、普段当たり前前に食べているお米は、生産者の方々の苦労があって、私たちのもとに届くことが改めてわかりました。だから、これからは、日々感謝の気持ちをもって、お米を食べたいと思います。

初めて田植えを体験した2年生の感想

私は、食育の田植え体験を通して2つのことを感じました。1つめは、作業の大変さです。腕も脚も体中を泥で汚しながら植え、田植えだけでもとても疲れしました。稲が実って食卓に上がるまでの苦労は計り知れません。2つめは、お米への感謝です。いつも当たり前前に食べていたお米のありがたみを知りました。技術を伝承・改良しながら、いつでもお米が食べられることに感謝しています。

☆学校運営協議会☆

※詳しい活動内容は「コミュニティ・スクールだより」にて

5月12日(金)に小学校と合同で学校運営協議会を行いました。学校運営協議会とは、「地域とともにある学校づくり」を目指して、「学校と地域の連携・協働」「社会総がかりでの教育の実現」「目標やビジョンを共有すること」「『地域とともにある学校づくり』への転換」を目標に導入された“コミュニティ・スクール制度”に基づく協議会のことです。元吉原小学校は、コミュニティ・スクールに指定され4年目、本校は1年目であり、今回は、導入後、初の会合となりました。

会長・副会長選出や学校経営方針の説明、「元吉原地区と共に育てる元吉原の子」を議題としたグループ討議等を行いました。委員の皆様方の「地域の力を活用して、子どもたちにより良い教育を施したい」という熱い思いに触れることができました。この思いに応えられるよう生徒たちと共によりより学校づくりをしていきます。

☆全国学力・学習状況調査 英語「話すこと」☆

先月、3年生が行った全国学力・学習状況調査の第2弾として、5月19日(金)に英語「話すこと」のテストを各自のタブレットを使用して行いました。画面と音声から問題を聞き取り、マイクに向かって音声で答えるという5分程度の問題でした。教師の不安をよそに、昨年度3月の事前検証の経験を生かし、とても落ち着いて解答していました。

調査を最初に受験したグループの3年生の感想

今回の英語「話すこと」のテストは、普段と比べて、難しく感じ、とても緊張しました。問題自体の難しさもありましたが、短時間に英語で答えること難しかったです。しかし、話して答える練習をしてあったので、トラブルなくスムーズに進めることができ良かったです。

文部科学省は、今回のようにタブレットやコンピュータだけを使用し、鉛筆や消しゴムで書き込まないテスト(CBT)の導入を、今後も計画しています。私たちの時代には、考えられなかったことを、お子様たちは、今、難なくこなしています。このような3年生の姿から、デジタル社会に適応した生徒が育っていることを感じるとともに、私たち大人も社会の変化に対応していかなければという思いがわいてきました。